

第32回 武雄市短期経済観測調査（たけお短観）の結果について

下記のとおり「第32回武雄市短期経済観測調査（たけお短観）」を実施し、結果をとりまとめましたので、お知らせします。

結果のポイント

- ・総合景気観のDI値は(20)となった。
- ・前回9月調査(+7)と比べ+13となり、拡大している。

【武雄市短期経済観測調査（たけお短観）結果】

平成29年12月調査

	調査数	前回調査		今回調査			前年調査
		A 現況 (H29. 9)	見通し (H29. 10- 12)	B 現況 (H29. 12)	(B-A)	見通し (H30. 1-3)	現況 (H28. 12)
					前回現況 との対比		
総 合	99	7	16	20	13	9	14
農業	10	-22	0	30	52	-20	0
建設業	11	55	45	55	0	27	27
製造業	11	18	64	45	27	36	27
卸売・小売業	24	-16	0	8	24	8	-13
観光業	11	9	0	9	0	-9	70
飲食業	10	-10	-30	-30	-20	-10	0
サービス業	22	18	27	27	9	18	18

- 調査目的 本市経済の景況感をよりの確に把握するため
- 調査対象 武雄市内事業所 100箇所（業種別内訳は上表参照）
- 調査時期 年4回（3月、6月、9月、12月）
- 調査方法 電話による聴き取り
- 調査内容
 - （1）現在の景況感：良い、普通、悪いのいずれかを回答
 - （2）3ヵ月後の見通し：良くなる、変わらない、悪くなるのいずれかを回答
- 集計方法
 - （1）現在の景況感（2）3ヵ月後の見通しについて、それぞれ回答数の構成比を求めた上で「良い（良くなる）」の構成比から「悪い（悪くなる）」の構成比を引いて「現況DI」、「見通しDI」として指標化しました。
 - 例えば、現在の景況感の「良い」が10%、「普通」が40%、「悪い」が50%の場合は、-40となります。
 - 「DI」（Diffusion Index、デフュージョン・インデックス）は、企業や業界の景況感などを数値化した指標の事で、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」（日銀短観）などで用いられています。